

減債基金ってどうして必要なの？



市が借金をする理由は分かったけど、返すためのお金を減債基金に積立てるのはどうしてなの？
貯めないでどんどん返せばいいのに

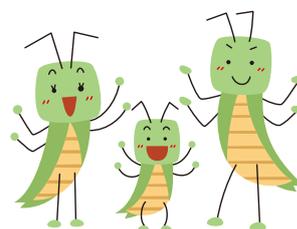
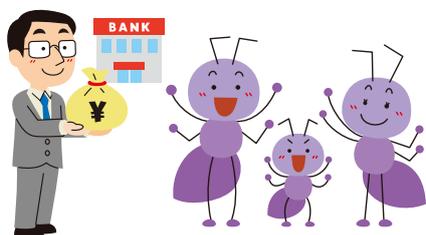
個人の住宅ローンの場合、借りたお金の一定額を毎月返済しますが、市の借金は最終返済日に金額を返す満期一括償還という方法で借りることがあります。その場合は、毎年度一定額を減債基金に貯めて、最終返済日に備える必要があります。

計画立てて貯めることどれだけ大事か、下の例で考えてみましょう。

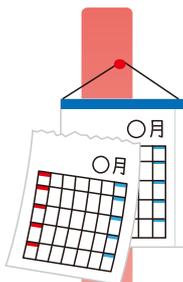
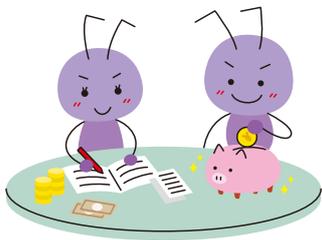


返済計画って大事!!

アリとキリギリスは銀行からお金を借りて、家建てました
銀行へは、毎月一定額を返す住宅ローンの方法ではなく、30年後に一括で返す約束です

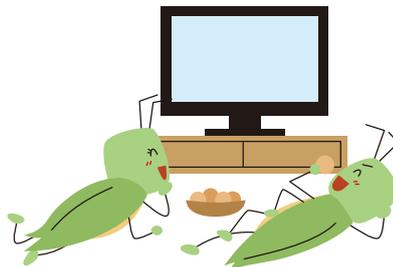


アリは、30年後の一括返済に備えて、
住宅ローンのように毎月返す分を
貯金することにしました



30年後返済する日が
来ました

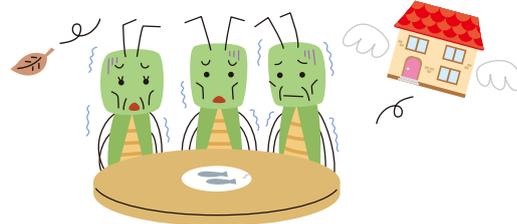
キリギリスは30年も先のことだから、
まだ大丈夫と考えています



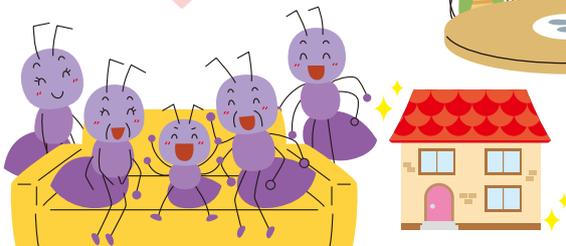
アリは計画通り貯金していたので
返済できました



キリギリスは借金を返済できず
家にも住めなくなってしまいました
こどもには借金が残り、生活も苦しくなりました



アリの家族は家の修繕も行い、
みんなで末長く幸せに暮らしました



30年も先のことだからと思って、計画立ててお金を積立てないと大変なことになってしまうんだね。

その通りです。返済のために計画を立ててお金を貯めないで、世代間の負担が不公平になったり、次の世代に負担を先送りすることになってしまいます。計画に基づき、減債基金にお金を積み上げていくことはとても重要です。

